



豊地っ子だより

～ かしこく やさしく たくましく ～

No. 2 三木市立豊地小学校
<http://www.miki.ed.jp/el/toyoti/>

主体的に学ぶ力の必要性

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休校となっております。保護者の皆様にはご家庭でお子さまの見守りについてご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。また、臨時休校中の家庭学習の実施においてお子さまが計画的に学習できるようご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

4月7日(火)に2年生から6年生の子どもたちが登校をして始業式を行いました。その際、私は子どもたちに本校がめざす児童像、「考える子」、「はげましあう子」、「つよい子」について知っているか聞いてみました。子どもたちからは、「知っている。」「教室に掲示してある。」などの返答がすぐに返ってきました。そこで、私は「考える子」になるためには、どのように勉強やさまざまな活動に取り組みばいいかを話しました。「考える子」になるためには「目標や計画をたてて勉強をする。」、そして、学習が終われば「どんなことを学んだか。どんなことができるようになったか。」を振り返り考えることで「考える子」になっていくことを話しました。どの子どもたちも真剣に反応しながら聞いていることに感心しました。

令和2年度より小学校では新学習指導要領が実施され、少子高齢化・グローバル化が進む、令和の時代を生き抜いていくための確かな学力を身につけるため「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められています。「主体的な学び」とは何でしょう。

プロ野球4球団で監督をされた野村克也さんが、次のようなことを語られているのを見つけました。「第1段階は『強い欲を持つ』ことだ。『優勝したい!』『稼ぎたい!』。こうした目標や夢があれば、『絶対に勝ちたい!』という執念が宿るもんだよ。すると『勝つには何をすればいいか』『足りないものは何か』と自ら努力し始める。」と述べておられます。

私はこの文章を読むことで、目標をもって取り組み、努力していく過程を振り返ることの大切さを改めて実感しました。

また、兵庫教育委員会・三木市教育委員会の方針にもあるように、学びに向かう機会を確保するため学習活動の最初に目標や計画を設定し、振り返りの時間を確保することで授業改善を行い、主体的な学びを育成することが重要であると指導方針に掲げています。

私たち教職員一同、主体的な学びを育成するため日々、授業改善に努め、子どもたちを指導していきたいと考えております。そのための授業づくりの準備を進めております。

5月31日(日)まで臨時休校が延長され、保護者の皆様にはご心配ご心労をおかけいたしますが、引き続いてのお子さまの見守りをお願いいたします。また、家庭学習において各担任より配布しています「時間割表」をもとにお子さまと話し合っただき、目標や学習計画の設定、学習後の振り返りを行っていただき、子どもたちの学びに向かう力の向上に、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



4/22 愛鱗会の方々がくださった鯉

校長 善村 龍昭